

ほけんだより

柏市立酒井根西小学校
令和5年3月10日
感染性胃腸炎 臨時号

感染性胃腸炎に注意！

細菌・ウイルス・寄生虫などによって引き起こされる胃腸炎のうち、ノロウイルス・ロタウイルスなどによるものは感染力が強いです。主な症状は、吐き気・おう吐・下痢・腹痛です。通常は数日で軽快しますが、ひどい場合脱水症状を起こしやすいので、おう吐や下痢などの症状があったら、医師の診察を受けましょう。

感染予防は…！

- 例えばノロウイルスは、10～100個程度のウイルスが体の中に入っただけで、感染してしまいます。石けんでのていねいな手洗いを心がけましょう。
- 感染力が強いので、家庭内感染を起こしやすいです。おう吐物の処理には、次亜塩素酸ナトリウムの入った消毒薬を使って、きちんと消毒することが大切です。
- お風呂は最後に入り、残り湯は捨てるようにしましょう。

こんなことにご注意を…！

- 大人も子どもも、とてもかかりやすいので、予防が大切です。
- おう吐・下痢のひどいときは、**脱水にならないように**水分をとらせてください。子どもはあっという間に脱水症状を起こすことがありますので、水分がとれない場合は、点滴などができる病院に連れて行くことをお勧めします。
- 「感染性胃腸炎」は、出席停止扱いになりますので、学校までお知らせください。

学校からのお願い

本校で胃腸炎が疑われる症状(おう吐・腹痛など)による欠席者が増えています。ご家庭での健康観察を引き続きお願いします。

- 「感染性胃腸炎」と診断された場合は、出席停止となり、登校の際には治癒証明が必要になります。必ず学校にご連絡をお願いします。
- 学校でお子さまがおう吐・下痢などを発症した場合、「感染性胃腸炎を疑っての対応」になることをご了承ください。
- 学校で汚れてしまった衣類などは、校内での感染防止のため、袋に入れてそのまま持ち帰らせます。ご家庭での洗濯・消毒をお願いいたします。
(→85度以上の熱湯に2分以上つけて、他の洗濯物とは別にして洗う。)